



Report 2 ご当地グルメで庄原をPR B-1支部大会へ庄原焼き出展

庄原焼きプロジェクトこめぼんズが、3月22、23日に府中市中心部で開催された「関西・中国・四国B-1グランプリ in 府中」に「庄原焼き」を出展しました。

大会にはゲスト団体を含め13県20団体が出展。オープン直後からテント前には長蛇の列ができるなど、2日間で約15万人もの来場者が訪れました。

庄原焼きプロジェクトこめぼんズは、2日間で総勢26人のボランティアスタッフを動員し、自慢のチームワークを発揮。庄原産のお米とポン酢ソースで仕上げた庄原焼きを多くの来場者へ振る舞いました。

庄原焼きプロジェクト連絡会議の西田学会長は「入賞に一步及ばなかったものの、庄原焼きを通じて、庄原市の魅力をPRすることができた」と話していました。



▲庄原焼きをPR!

Report 3 幸せ呼ぶ黄金の花を愛でる ためしげ福寿草まつり



3月29日・30日の2日間、東城町久代の為重地域にある福寿草自生地で「ためしげ福寿草まつり」が開催されました。

今年の自生地公開は3月2日から始まり、太陽の日差しを浴びて黄金に輝く福寿草を一目見ようと多くの人が訪れました。

まつりの会場では、地元自治会による地元産品の販売や手打ちそば、川魚の塩焼きなどのバザーがあり、参加者はのんびりと春を感じながら楽しんでいました。

▲黄色い花が輝く福寿草

Report 4 決意を新たに防災を誓う 庄原市消防団比和方面隊放水式

庄原市消防団比和方面隊放水式が4月6日、比和中学校駐車場で開催されました。

この放水式は、消防団員の士気高揚を図るとともに、消防活動に対する住民の認識と信頼を深め、防火思想の関心を高めることを目標に毎年行われています。

この日は、時折強い風と雪が降る寒い日でしたが、梅津孝晴方面隊長以下60人の団員が参加。式典、観閲の後、比和川に架かる学校橋から、小型ポンプ4台を用い5本のホースで一斉に放水。赤や青などカラフルで鮮やかな放水に、見学に訪れた住民からも拍手が沸き上がっていました。

団員らは「最近火災が続いている。住民の皆さんの期待に応えられるよう技術向上に努めたい」と決意を新たにしていました。



▲鮮やかな一斉放水

市内のイベントやまちの話題をお届けします。
身近でホットな情報をお寄せください。
情報政策課広報広聴係
☎0824-73-1159 / Fax0824-72-3322

Report 1 おかげさまで一周年！ 道の駅たかの「雪どけまつり」1周年記念感謝祭

4月10日から13日の4日間、道の駅たかののオープン1周年を記念して、「道の駅たかの雪どけまつり」が開催され、4日間合計で県外、市内外から約30,000人が訪れました。

目玉商品として期間中数量限定で販売された「雪ん子りんご」を手にした佐伯直信さんご夫妻（広島市安佐南区）は「雪の中で冬を越したりんごの味に興味があった。味が楽しみ」と話していました。また、駅舎内の日替わり特売品コーナーや屋外ステージイベン

ト、ふれあい動物コーナー、テント屋台などにも大勢の人が集まり、各会場は終日にぎわいを見せました。

地元産にこだわった農産物の販売、地元素材を使用した加工品やレストランメニューを提供するなど、庄原市の魅力を伝える商品開発に力を入れてきた道の駅たかの。1年を通して多くのお客さんでにぎわい、来場者数、売上げともに年間目標の約2倍を達成しました。

須安道秀副駅長は「松江自動車道の開通効果や出雲

大社の大遷宮の影響が大きかった」としながらも、「もっと多くのお客さんに喜んでいただけるよう、さらに魅力のある道の駅たかのにしていきたい」と決意を新たにしていました。



▲ミニ動物園



▲ゆるキャラにはしゃぐ子どもたち



▲雪ん子りんご



▲大盛況の餅まき



Report 8 みんな笑顔でお・も・て・な・し 第15回しあわせ館まつり



▲みんなが主役！ファッションショー

「第15回しあわせ館まつり」が4月20日、西城町保健福祉総合センターで行われ、およそ350人の来場者でにぎわいました。

「しあわせ館！古いも若きもお・も・て・な・し！」をテーマに、西城町の各種団体が、ステージ発表や手作り作品などを展示・販売しました。

メインイベントの“みんな主役！ファッションショー”には小さな子どもからお年寄りまでが参加。町内から集めた思い出の衣装を身にまとい、場内を沸かせました。

今回は、しあわせ館の活動に長年貢献した9人の方

を表彰するボランティア表彰が行われたほか、ラフターヨガ、血液さらさら体操といった来場者と一体となって楽しめる全員参加型のステージが行われました。また、八銚自治振興区が初めて出店し、「血液サラサラたまねぎスープ」を販売しました。

ラフターヨガの講師としても出演した小谷勝行実行委員長は「1年を通したしあわせ館の取り組みや地域とのつながりがあって、今日のしあわせ館まつり開催となった。来場者と一体となって作り出す華やかさや楽しさ、楽しさから“しあわせ館らしさ”を感じられた」と熱く語っていました。



▲ラフターヨガでみんな笑顔

Report 9 飲酒運転をしない、させない、許さない！ 峰田自治振興区が飲酒運転撲滅看板とのぼりを設置

峰田自治振興区は飲酒運転の撲滅を誓い、飲酒運転撲滅看板とのぼりを設置しました。そのお披露目となる除幕セレモニーが4月7日、設置されている峰田保育所で開催されました。

セレモニーには自治振興区住民や警察関係者など約30人が参加。

須澤軍治区長はセレモニーで「お酒は飲み方しだいで恐ろしい魔物になります。今日を機にお酒を飲むときには車のキーをハンドルキーパーに預け、お酒の魔物に誘われないように誓い合いましょう！」と呼びかけました。

セレモニーの後、除幕した看板を参加者で囲み「飲酒運転をしない・させない・許さない」という誓いを新たにしました。

峰田自治振興区では2月中旬から飲酒運転撲滅運動の重要性

について話し合いを重ね、構成する全自治会・班で「ハンドルキーパー運動」に参加することを決定。これを啓発するため、看板とのぼりを製作しました。作製された10本ののぼりは、区域内で開催されるイベントなどで掲示して、啓発に活用されます。



▲みんなで飲酒運転STOP宣言

Report 5 手作り作品がズラリ くちわ旧暦ひなまつり

〇和自治振興区女性部が主催する「くちわ旧暦ひなまつり」が3月30日～4月5日までの期間、〇和自治振興センターで開催されました。

〇和で古くから行われていた「旧暦ひなまつり」を再現したこの催しは、平成20年に復活して以来続く行事で、ひな人形のほかにも手芸サークルや町内の保育園児が出品した絵手紙や短歌、俳句などたくさんの作品が並び、来場者の目を楽しませました。

3月30日に行われた一日だけの限定イベントでは、常定自治会特製の「ひなまつりポン菓子」が振る舞われ、ミニコンサートや絵本の朗読、ひな人形作りなどを楽しむ親子連れでにぎわいました。



▲ひな人形作りを楽しむ来場者

Report 6 古いまちなみ風情を感じてのんびり散策 東城まちなみ春まつり



▲三楽荘で行われた創作人形展

4月2日から6日までの5日間、夢街道ルネサンス認定地区「街道東城路」の約600mの区間で、各家に伝わるひな飾りや手作りの作品が並ぶ「東城まちなみ春まつり」が開催されました。

期間中には市街地の桜も満開となり、うらかな春日和のなか、のんびりと散策する人たちでにぎわいました。

三楽荘では創作人形展が開催され、昔の子どもたちが遊ぶ様子や、浦島太郎やかぐや姫など昔ばなしのワッシーンを再現した人形たちに、訪れた人たちは感動していました。

土日には、東城高校と東城中学校の生徒たちがボランティアガイドを行い、来訪者たちをまちなみへ案内していました。

Report 7 長年の手入れで花が咲く カタクリの自生地公開

総領町亀谷段畑の土谷友幸さんの敷地で4月上旬から中旬にわたり、「カタクリの花」の公開が行われました。

カタクリの花は、約5センチの薄紫色をした花びらで、晴れた日の午後、6枚の花びらが太陽の光を浴びるように反って咲きます。

公開中は、写真撮影や観賞のために、関西や九州など多方面から人が訪れています。

30年間、自生地の草刈や周辺整備を続けている土谷さんは「現在周辺は過疎化が進み、人が来ることがなくなっている。カタクリの花を見に来てくださる限り、そして体力が続く限り自生地の公開を続けていきたい」と話していました。



▲カタクリの花を見物する人